

何でもランキング

「人付き合いを磨く落語」

1位 「百年目」

564票

堅物と思われていた番頭がこっそり芸者らと出かけた花見で店の大旦那とばったり。恐縮する番頭に大旦那は……。

2位 「井戸の茶碗」

327票

屑屋が浪人から買った仏像を細川藩士が買い取ると中から50両が。元の持ち主に返そうとするが浪人は受け取らない。善人ばかりの心洗われる一席。

3位 「居残り佐平次」

279票

佐平次という男が妓楼（ぎろう）で勘定を払わずに居残るが、幫間（たいこもち）顔負けで愛想よく客の相手をして評判に。

4位 「天災」

261票

夫婦喧嘩をした短気な八五郎が離縁状を書いてくれとご隠居に頼む。あきれた隠居が紹介した心学者は八五郎を諭す。おさまらない腹の虫をおさめる術は。

5位 「らくだ」

228票

長屋の嫌われ者がフグにあたって死ぬ。金は無いが葬式を出してやりたいと兄貴分が策を巡らす……。

6位 「小言幸兵衛」

210票

うるさい小言をいうのが何よりの楽しみな家主。店子の希望者がやってきても小言で追い返してしまう。

7位 「大工調べ」

162票

大工の与太郎が家賃滞納のカタに道具箱を取られ、棟梁が家主と掛け合うがケンカになってしまう。いわゆる大岡裁きを落語に……。

8位 「壺算」

159票

買い物上手の男が一荷入りの壺を3円で買うが「やはり二荷入りを」。勘定のトリックを駆使して得をしてしまう。有名な「時そば」より少し計算が難しい。

9位 「厩火事」

156票

髪結いのお崎の年下の亭主は怠け者で夫婦喧嘩が絶えない。相談された仲人は孔子の逸話を例に夫の愛情を試せと言う。

9位 「中村仲蔵」

156票

売り出し中の歌舞伎役者、仲蔵がどういうわけかつまらない役を振られるが、創意工夫で演じて観客の大評判を得る。実在の役者のエピソード。